

# 祐善寺だより

第14号

発刊日

2005年7月10日

真宗大谷派 祐善寺 住職/岡崎 賢 福井県丹生郡越前町上糸生・森 TEL 0778-34-5170 FAX 0778-34-5170



うれしいときでも

悲しいときでも

自分の人生は

そこにある

廣瀬 杲

## 蓮如上人御影道中

岡崎 優 大

浄土真宗中興の祖と呼ばれている蓮如上人の御影を、毎年、京都・東本願寺から福井・吉崎別院まで御輿にのせてお運びする蓮如上人御影道中は、今年も四月十七日から五月九日まで行われました。

東本願寺から吉崎別院までの片道二四〇キロという道程を、全国からの御同朋・御同行の方々の足で、七日間をかけてお運びします。

この御影道中は、江戸時代から現代まで絶えることなく受け継がれ、今年で三三二回目です。

僕は、今年五月三日にこの御影道中に短時間でしたが参加することができました。参加した理由は、一年に一回、京都・東本願寺から、蓮如上人の御影を吉崎へとお運びするのを知っていて、自分もいつかは、お運びさせていたきたいと思っていたからです。

今回、短距離ではありませんでしたが、大谷スカウトの方々と全国からお集まりになった御同朋・御同行の方々と一緒に鯖江市内のコースを歩かさせていただくことが出来ました。

昔は、蓮如上人御影道中がお通りになられると、座って拝んでいた人がいたと聞いていますが、今ではそんなことは、なくなってしまうと思います。鯖江でも、参詣者の方が少ないのは、とても残念です。

この御影道中は、今後も絶えることなく続いていって欲しいですし、また、いつか機会があれば、今度は、京都・東本願寺から吉崎別院までの全道程をお供させていたきたいと思えます。



御影道中は、途中、お宿でしばし休憩されます

# 本堂屋根瓦葺替工事完工！

当寺本堂屋根（北面及び東面の半分）瓦葺替工事は、五月初旬に着工し、このほど完工しました。工事期間が梅雨期と重なったため、雨の影響が心配されましたが、今年の梅雨期前半は天候に恵まれ、お蔭様で工事も順調に進みました。

当寺の本堂北面は山に面しており日陰になるために、特に冬季には屋根に積もった雪が解けにくく、どうしても瓦が傷みやすい条件があります。

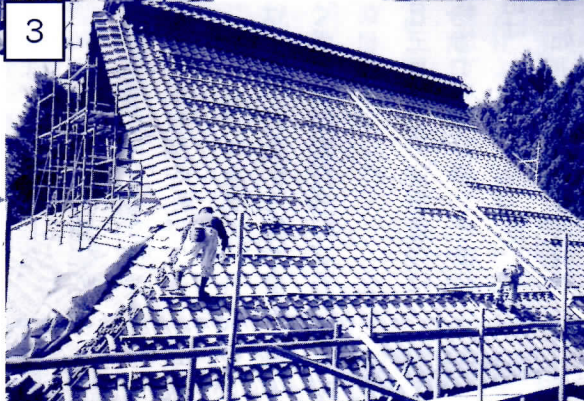
今般、皆様の法灯護持のご懇念によりまして、本堂屋根瓦葺替工事を執行していただきましたことを、心より深く感謝申し上げます。

なお、本堂前面及び西面の瓦は、平成元年に葺き替えて頂いておりますので、今般の工事で祐善寺本堂屋根瓦は、全て葺き替えが完了したことになります。お蔭様で、本堂屋根は、少なくとも向後三十年以上は、修繕の心配をすることはなくなつたと、と安心しております。阿弥陀様も、ご先祖様も、一番喜んで頂いているに違いありません。皆様には、度重なるご迷惑をおかけいたしておりますことを、本当に申し訳なく思います。本当にありがとうございます。



古い瓦を除いたあとに木材等で補修していきます

手渡して古瓦等を処分していきます



職人さんは屋根が急傾斜のため作業も慎重です



きれいに葺き替えられた本堂屋根北面及び東面

壁も白く塗り替えられました

# 平成17年度 祐善寺年間教化事業等計画

## 1 年中行事の厳修

- ①御年頭 1月1日・2日
- ②彼岸会 春 3月20日 午後2時〜  
法話・住職
- 秋 9月23日 午後2時〜  
法話・住職
- ③蓮如上人御忌 6月24日

本年は、本堂屋根瓦葺替工事中にて中止

- ④永代経会 8月7日(日)  
布教・木津祐昌師
- ⑤報恩講 11月2日(水) 午前10時〜  
布教・出雲路善嗣師
- ⑥御正忌 11月28日(月) 午後2時〜
- ⑦除夜の鐘 12月31日(土) 午後11時45分〜

## 2 同朋会の実施 (第一日曜日 午前8時30分〜10時)

- 第1回 3月6日 第2回 4月3日
- 第3回 6月5日 第4回 9月4日
- 第5回 10月2日

### 同朋会の内容

- ①おつとめ、おふみの練習
- ②座談・今月の法語
- ③真宗の正しい教え

※事情により日時等、変更あり  
※どなたでも参加して下さい

## 3 正信偈おつとめ 出前講座の実施

正信偈のおつとめを、どこのご家庭でも全員が読誦できるように、ご要望により住職がご家庭等に伺い、正信偈のおつとめを伝授します。  
※どしどし、ご遠慮なくお申し付け下さい。

## 4 作業奉仕

- ①草刈り奉仕 7月31日(日)  
当番地区 小倉、大城野地区  
及び有志
- ②雪囲い奉仕 11月27日(日)予定  
当番地区 森、杖立区  
及び有志
- ③報恩講奉仕 11月1日(火)、2日(水)  
当番地区 小倉、大城野、  
真木、杖立、大玉
- ④仏具みがき奉仕 10月22日(土)  
報恩講当番地区

## 5 門徒総会の開催

1月2日 午前10時〜

## 6 「祐善寺だより」の発行

年2回発行

## 年忌法要を お勤め下さい

平成十七年の年忌は、左記の通りです。

貴家の過去帳をご確認の上、かけがえないご先祖様の年忌法要を、是非勤めて下さいますようお願いいたします。

百回忌	明治三十九年没
五十回忌	昭和三十一年没
三十回忌	昭和四十八年没
二十五回忌	昭和五十六年没
十七回忌	平成元年没
十三回忌	平成五年没
七回忌	平成十一年没
三回忌	平成十五年没
一周忌	平成十六年没

### 東本願寺

## なつのつどい ごあんない

2005



### 高校生奉仕団

全国から集まった人たちと野外へ体験学習に出かけ、生活の中で感じていることを本音で語り合います。

- 期間** 7月29日(金)～31日(日)
- 参加対象** 高校生
- 会場** 東本願寺 同朋会館
- 定員** 30名
- 参加費** 13,000円(他に米2kg又は米代1,300円)

### 中学生奉仕団

話し合いや体験学習を通して、自分自身を見つめなおす集いとして開催します。

- 期間** 8月22日(月)～24日(水)
- 参加対象** 中学生
- 会場** 東本願寺 同朋会館
- 定員** 30名
- 参加費** 8,500円(他に米2kg又は米代1,300円)

### 同朋ジュニア大会

真宗の教えの中で生活することをとおして、「いのち」を問い続けるという願いのもと開催いたします。

- 期間** 8月1日(月)～4日(木)
- 参加対象** 小学生5・6年生及び中学生
- 会場** 東本願寺 同朋会館及び研修道場
- 定員** 小学生200名・中学生80名
- 参加費** 小学生9,000円・中学生12,000円  
(他に米2升又は米代1,800円)

### 子ども奉仕団

みんなで、お話を聞き、おつとめをし、清掃奉仕を行い、遊び、さまざまな出会いの中で、人として生きる道をたずねます。

- 期間**  
第1回 7月26日(火)～27日(水) 第2回 8月5日(金)～7日(日)  
第3回 8月9日(火)～11日(木) 第4回 8月19日(金)～20日(土)  
第5回 8月22日(月)～24日(水)
- 参加対象** 小学生(4・5・6年生)
- 会場** 東本願寺 同朋会館
- 定員** 150名(第5回は100名)
- 参加費** 2泊3日/8,500円(他に米2kg又は米代1,300円)  
1泊2日/6,000円(他に米1.2kg又は米代800円)

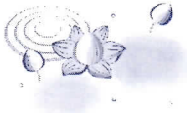
● お問い合わせ・お申し込みは祐善寺まで ●

### 投稿のお願い


この『祐善寺だより』の発刊を支えて下さるのは、皆様からの投稿やご協力が不可欠です。

どうか、日頃感じられている「宗教」の話や、社会の出来事についての感想、生活で感じられていること、本山や祐善寺に対してのご意見など、どのようなことでも結構です。どしどしご投稿下さいますようお願いいたします。


松島竹子様(越前町杖立)には、平成十七年四月八日、行年七十六歳にて往生の素懐を遂げられました。御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。




木下寛様(越前町森)には、平成十七年三月十九日、行年八十六歳にて往生の素懐を遂げられました。御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



土橋正武様(福井市若杉浜)には、平成十七年五月九日、行年六十一歳にて往生の素懐を遂げられました。御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



桑原りつ子様(越前町乙坂)には、平成十七年四月十七日、行年六十四歳にて往生の素懐を遂げられました。御生前中の御功勞に、心より深謝申し上げます。



おくやみ

# 第6回

## 御和讃講座

### 佛光照曜最第一

阿弥陀様の光明の輝きは、  
諸佛も及ばない

### 光炎王佛となづけたり

光のなかの光、  
炎のなかの炎であり、

### 三途の黒闇ひらくなり

欲望と怒りと迷いの我執の闇は  
開かれます。

### 大応供を帰命せよ

本当に敬うべき佛様(阿弥陀様)に  
まかせて生きる以外に  
ありません。

其の10

仏事  
一口メモ

#### ご本尊とは(3)

ご本尊について整理してみますと、  
次の二面性が知らされます。

(1)色や形がなく、目にする事ができないご本尊。口に称える名号(南無阿弥陀仏)のこと。

(2)色や形に表した目にする事ができるご本尊。木像・絵像の阿弥陀如来や文字で表した名号のこと。

前号でお話ししましたが、生きた本尊に尊いご本尊とは(1)を指しています。では、(2)をどう理解したらよいのでしょうか。

お内仏(お仏壇)にお掛ける絵像ご本尊の裏側を見ていただきますと、「方便法身尊形」と書かれています。

この方便とは、「嘘も方便」などといわれるような便宜的な手だてという意味ではありません。

中国の曇鸞大師は、「正直を方という。外己を便という」と語っています。この言葉は、「偏りも歪みもなく(正直)方)、自分の都合を全く考えず、ひたすら人々のためだけを思う心(外己)

便)をいうようです。つまり、「方便法身尊形」は、偏りも歪みもなく、一心に一切の人々を救おうという仏さまの真実のはたらきを表した尊いお姿という意味になります。

口に称える名号は、色も形もなく肉眼には見えません。その見えない仏さまのはたらきに導き至らしめるために、木像や絵像という形をもって表現されているわけです。

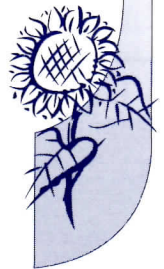
以前にも申しましたように、浄土真宗のお内仏は、ご先祖を安置する壇(先祖壇)でも、お願い事をする壇(依頼壇)でもありません。日常生活の中で、いつでも帰ることのできる心の依り所です。形あるご本尊に手を合わすことをとおして、真のご本尊に出会い生きる喜びをいただいでいくのであります。

また、ご本尊が目に見えることによつて、偶像を崇拜することのように思われるかもしれませんが、しかし、浄土真宗は偶像崇拜ではありません。お内仏にお掛けするご本尊は、私たちに真に依るべき本尊に尊いこと(上記(1))を教え示そうと表されたお姿なのです。

ご本尊は、木像・絵像・名号にわけられますが、お内仏(仏壇)には、一般的に絵像のご本尊をお掛けします。本山(東本願寺)からお受けするご本尊の裏には、「方便法身尊形」と裏書されています。

「サンガ」より

# お知らせ



## 永代経会

八月七日(日)

十一時半

御齋おとしき

二時

永代経会法要

二時三十分

布教

三国・智敬寺住職

木津祐昌師

三時三十分

物故者総墓収骨

ご家族、ご法友お誘いあ  
わせの上、何卒ご参詣下  
さいますよう、ご案内申  
し上げます。

### ●暁の『真宗こうざ』●

- 日時 7月31日(日)  
朝 6時～7時
- 会場 東別院本堂  
(福井市花月1丁目)  
協賛会費 ￥500
- テーマ 何のために  
仏法をきくのか
- 講師 和田しん 綱つな 師  
(石川県大聖寺教区浄泉寺前住職)

### ●ボランティア募集!●

#### 寺周辺の草刈り、環境整備の ボランティア募集!

- 日時: 7月31日(日) 7時30分集合
- 持物: 草刈機もしくは鎌、スコップ
- 昼食: 用意します。

炎天下、恐縮ですが、ご協力頂ける方は、7月25日までに祐善寺までお申し出下さい。傷害保険に加入するために、ご氏名、生年月日も教えて下さい。よろしくお願ひします。

## 入門 介護保険⑭

### 認知症対応型

### グループホームとは?

グループホームは、認知症状のある方が少人数で共同生活を送るホームのことです。

家庭的な雰囲気の中で共同生活を送ることによって、認知症の進行を遅らせたり、落ち着いた生活ができるようにするのが、グループホームの目的です。

グループホームの定員は、五人以上九人以下と少人数で、居室は個室です。ホームでの食事は、共同キッチンで利用者とスタッフが一緒に食事を作ります。その他のことも、スタッフのサポートを受けながら、利用者ができることは利用者自身で行います。

グループホームに入居するには、「要介護1」以上の要介護認定を受けなければなりません。

ただ、グループホームは、在宅サービス扱いになっていますので、家賃等の諸経費が全額自己負担になっています。

## 編集後記

★先般、お陰様にて本堂屋根瓦葺替工事が終了いたしました。平成元年に前面・西面・東面半分を葺き替えていただき、今年、残る北面と東面の半分を葺き替えていただくことができました。本当にお陰様で、これでもう当分の間は本堂や庫裡の屋根修繕等の心配をすることは要らないでしょう。本当に、皆様にはたびたびご迷惑をおかけしまして、申し訳なく思えばかりでございます。

★今年もまた、お盆が近付いてきました。今年は、当寺のご門徒さんも、春からたくさんの方が亡くなられました。清沢満之先生が遺された「生のみが我にあらず。死もまた我等なり」というお言葉は、死に背き生きることだけにあぐさくしている我等の生き方を鋭く問われているように思います。お盆を迎えるに当たって、仏様・ご先祖様のご恩に深く感謝しながら、心静かに我が身の生き方を振り返っていききたいものであります。★今年の夏は、また暑くなりそうです。が、皆様、ご無理をなさらないように、くれぐれも御身ご自愛下さいませ。